

▶屯田兵最初の集合写真(明治8年5月)

琴似地区 歴史探訪ガイド

～屯田兵に想いを馳せて～

企画・編集 琴似・二十四軒まちづくりセンター
〒063-0812 琴似2条7丁目1-10 TEL 011-621-2508

琴似の語り部

今、琴似の街にはJR線と地下鉄が走り、兵村のあった琴似栄町通（琴似本通）の両側には大型スーパーやホテル、様々な商店やマンションが軒を連ねています。市政の要としての区役所や学校もあって、札幌の副都心としての景観を擁しています。

そんな琴似も、150年前は原始の森でした。そこに、1875年（明治8年）208戸の屯田兵村が誕生したのです。やって来たのは、戊辰戦争で敗れた側の東北の侍たちでした。薩摩閥の開拓使の下で、刀を斧や鋤に持ち替えて巨木を切り倒し、耕地を開きました。農具を手にしたことの無い侍たちにとって、想像以上の過酷な労働でありました。密かに北海道を狙っていたロシアの脅威から国土を守るための軍事訓練も怠りませんでした。開拓と北の守りと没落士族の救済という三つの目的をもつ屯田兵制度は、道内に37の兵村が設置されましたが、琴似はその第一号なのです。その誇りと懸命の努力とが、朝敵という世間の冷たい目に抗って今の琴似の基礎を創りあげたと言って過言でないのです。

すっかりビル群になった琴似本通りの両側には、当時の兵村の遺構が今もたくさん残っています。150坪の敷地と敷地の境目も確かめることができます。現在のビル群の向こう側に、当時の集団密居式の住宅が重なって透けて見えてくるのです。そんな昔の琴似の姿を探しに出かけてみませんか。

琴似屯田子孫会 事務局長 永峰 貴

屯田兵の歴史を伝える「琴似屯田歴史館資料室」

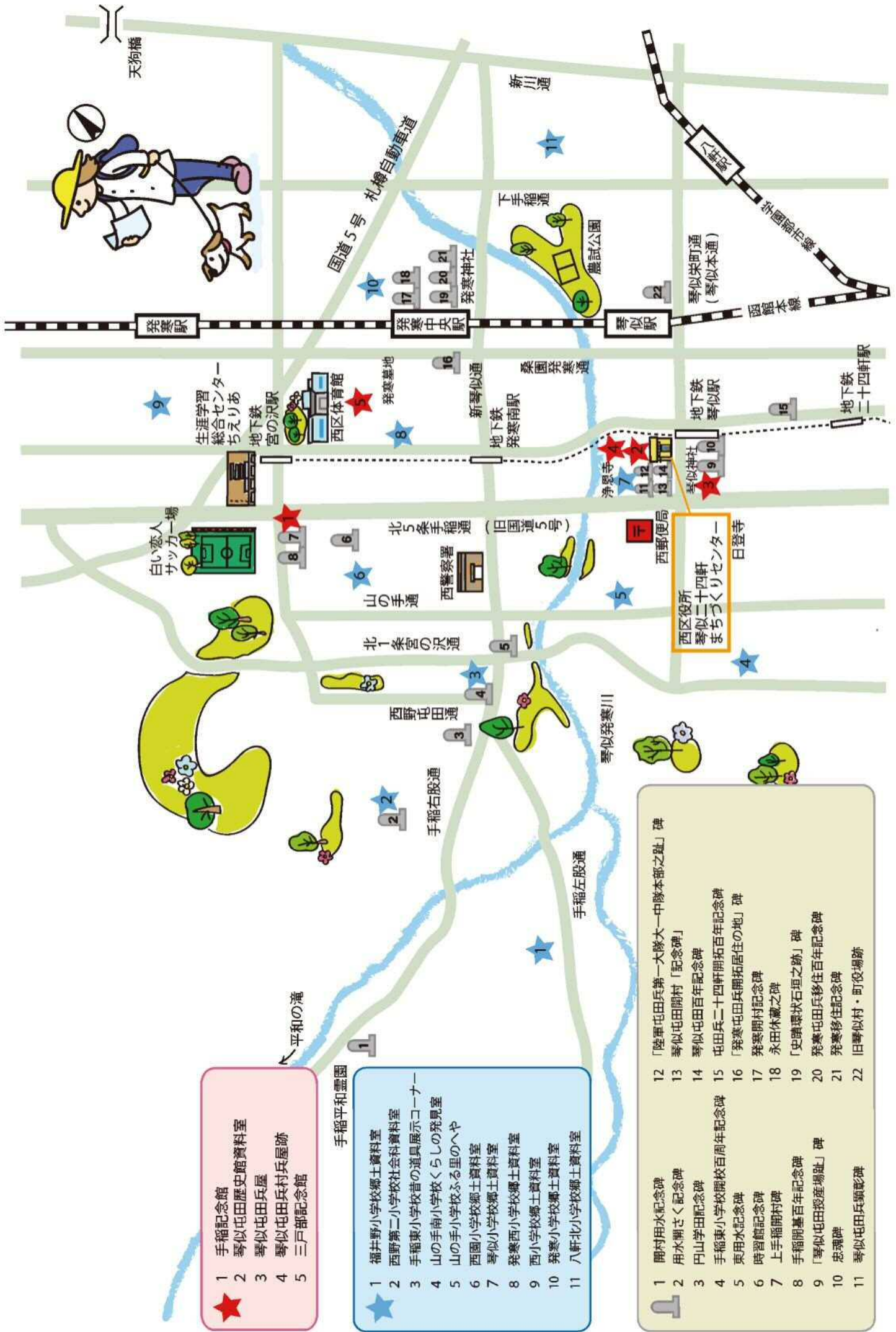
「琴似屯田歴史館資料室」は、琴似に入植した屯田兵の歴史を知ることができる施設です。開拓当時の写真や、実際に屯田兵が使用した用具や貴重な資料、文献等が展示されています。

みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

所在地 札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所分庁舎2階
(地下鉄東西線琴似駅より徒歩5分)

開館日時 毎週水曜日10時～16時（祝日、お盆、年末年始を除く）

電話番号 011-614-8245



- ★ 1 手稲記念館
- ★ 2 琴似屯田歴史館資料室
- ★ 3 琴似屯田兵屋
- ★ 4 琴似屯田兵村兵屋跡
- ★ 5 三戸部記念館

- ★ 1 福井野小学校郷土資料室
- ★ 2 西野第二小学校郷土資料室
- ★ 3 手稲東小学校昔の道具展示コーナー
- ★ 4 山の手南小学校くらしの発見室
- ★ 5 山の手小学校ふるりの理のへや
- ★ 6 西園小学校郷土資料室
- ★ 7 琴似小学校郷土資料室
- ★ 8 発寒西小学校郷土資料室
- ★ 9 西小学校郷土資料室
- ★ 10 発寒小学校郷土資料室
- ★ 11 八軒北小学校郷土資料室

- ★ 1 開村用水記念碑
- ★ 2 開村用水開き記念碑
- ★ 3 円山学田記念碑
- ★ 4 手稲東小学校開校百周年記念碑
- ★ 5 東用水記念碑
- ★ 6 時習館記念碑
- ★ 7 手稲開村碑
- ★ 8 手稲開基百年記念碑
- ★ 9 「琴似屯田産産場跡」碑
- ★ 10 忠魂碑
- ★ 11 琴似屯田兵頭取碑
- ★ 12 「陸軍屯田兵第一大隊大一中隊本部之跡」碑
- ★ 13 琴似屯田開村「記念碑」
- ★ 14 琴似屯田百年記念碑
- ★ 15 屯田兵二十四軒開拓百年記念碑
- ★ 16 「発寒屯田兵開拓居住の地」碑
- ★ 17 発寒開村記念碑
- ★ 18 永田休蔵之碑
- ★ 19 「史蹟環状石垣之跡」碑
- ★ 20 発寒屯田兵移住百年記念碑
- ★ 21 発寒移住記念碑
- ★ 22 旧琴似村・町役場跡